

教科名	科目名	単位数	授業形態	系統	履修年次
芸術	音楽Ⅲ	2	選択	文系	3

教科書（発行所）	Joy of Music（教育芸術社）
教科書以外の教材	Music Note（啓隆社）

目 標		1 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけるようにする。 2 自己のイメージをもって音楽表現を工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。 3 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。		
	学期	学習事項	学習内容	考查等
学習計画	1 学期	表現を工夫して歌おう	様々な歌唱曲に親しみ、発声や発音に注意し表現を工夫して歌う。	
		ピアノに挑戦しよう①	自分の達成目標に応じてピアノを演奏する。	実技テスト
		ヴァイオリンに親しみ、アンサンブルに挑戦しよう	楽器の特徴や奏法を理解しイメージを持って演奏する。 ヴァイオリンの奏法の復習：ボーイング、音階 ちょうちょう（2部合奏）むすんでひらいて（2部合奏）	実技テスト
		創作に挑戦しよう①	楽譜制作ソフトを用いて、旋律に簡単な伴奏付けをする。	作品提出
	2 学期	ピアノに挑戦しよう②	自分の達成目標に応じてピアノを演奏し、発表する。	実技テスト
		創作に挑戦しよう②	楽譜制作ソフトを用いて、自由な発想で8小節程度の自作曲を作る。	作品提出
		ソロやグループで歌や楽器の演奏をしよう	個人・グループで演奏する曲を決めて練習する。	実技テスト
3 学期	演奏を発表しよう	個人・グループで発表する。	実技テスト	
授業の受け方・学習に向けてのアドバイス等		1 移動教室のため、遅刻をしないように時間に余裕をもって行動しましょう。 2 実技試験、ノート、授業態度、出欠状況（遅刻・欠席等）で評価します。 3 実技（歌唱・器楽・創作）は取り組む姿勢を重視して評価します。 4 リズムやコードの基礎的事項も理解していきましょう。 5 音楽の基礎的内容を学び、その魅力を理解し、生涯にわたって音楽を愛好することができるようになりましょう。		

評価の観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
	曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。	音色、リズム、旋律、強弱、構成等を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取りながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
評価の方法	定期考査は行わず、次の3点をふまえて総合的に評価します。 1 音楽への関心・意欲・態度（音楽に興味関心を持ち、いろいろな活動に意欲的に取り組み、活動しているか） 2 音楽表現の技能（曲想を感じ取って表現する技能を身に付けているか） 3 鑑賞の能力（音楽の構造や演奏法、楽器の特徴を理解しているか。音楽の文化的背景を理解して楽曲を聴き取っているか）		